



池袋図書館 月刊情報誌

ふくろう通信

2018年12月号

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1 ☀
2	3	4	5 😊	6	7	8 🎵
9 🎵	10	11	12	13	14	15 ☀
16	17	18	19	20	21	22 🎵
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ☀
6	7	8	9 😊	10	11	12 🎵
13	14	15	16 🎵	17	18	19 🎵
20 🎵	21 🎵	22	23	24	25	26 ☀
27	28	29	30	31		

- ☀ マークのついている日はたんぼおはなしかいです。(午後2:30から2階ワークルームにて)
- 😊 マークのついている日はあかちゃんおはなしかいです。(午前11:00から2階ワークルームにて)
- 🎵 マークのついている日は工作会・スペシャルイベントがあります。(詳細は、次のページへ)

豊島区立池袋図書館

〒171-0014 豊島区池袋3-29-10

☎03-3985-7981

●開館時間●

平日 午前9:00～午後8:00

土・日・祝日 午前9:00～午後6:00

●休館日● (第1月曜日・第4金曜日・年末年始・特別館内整理日)

【12月】3日(月) 28日(金) 29日(土) 30日(日) 31日(月)

【1月】1日(火) 2日(水) 3日(木) 4日(金) 7日(月) 25日(金)



今月のめだま



今月の池袋図書館でのおすすめの催し物のご案内です！
お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

【一般】



絵手紙に挑戦

～すてきな年賀状を送ろう～

12月9日(日)

14:00～16:00

講師:小林文以子氏

(日本絵手紙協会)

定員:15名(先着順) 申込費用不要

池袋第三区民集会所



【児童】

たんぼぼおはなし会

えいごのよみきかせもあります！

12月1日(土) 14:30～15:00

12月15日(土) 14:30～15:00



申込不要 2階ワークルーム

たんぼぼこうさく会 【児童】

おりがみでクリスマスのかざりを
つくろう！

12月8日(土) 14:30～15:30



申込不要 2階ワークルーム

たんぼぼクリスマス会 【児童】

12月22日(土) 14:30～15:30



えほんを よんだり みんなで

うたったり します。

にんぎょうげきも あります！



申込不要 2階ワークルーム



ふくろう博士の今月の調べてみよう！



今月のテーマ【明かり】



イルミネーションが街を彩り、クリスマスキャンドルが店頭に並ぶ季節になりました。

そこで、今回は、イルミネーションやキャンドルなどの、

私たちの生活を照らしてくれる、「明かり」に目を向けてみました。

「明かり」といっても、種類はさまざま。皆さんにとって、一番好きな「明かり」は何ですか？

1. キャンドル・ろうそく — 火の明かり —

(一般)『火の神話学』大塚信一 平凡社【383 オ】

『マイケル・ファラデー』コリン・A. ラッセル/著 須田康子/訳【289.3 オ】

『6種のワックスとエッセンシャルオイルで作るハンドメイドキャンドル』福間乃梨子/著 文化学園文化出版局【594.9 ㊦】

(児童)『新・ろうそくの科学』道家達将/著 岩波書店【X C0】

『日本の生活道具百科』岩井宏實/監修 中林啓治/イラストレーション 河出書房新社【X 383】

2. イルミネーション・電気 — 電気の明かり —

(一般)『照明の科学』高橋俊介/監修 照明と生活の研究会/著 日刊工業新聞社【545 シ】

『トコトンやさしい発光ダイオードの本』谷腰欣司/著 日刊工業新聞社【549 タ】

『あかりのレシピ』橋田裕司/著 マール社【750 ハ】

(児童)『電気がいちばんわかる本 1 明かりのひみつ』米村でんじろう/監修 ポプラ社【540】

『くらしを変えてきたあかりの大研究』深光富士男/著 坪内富士夫/監修 藤原工/監修 PHP 研究所【545】

3. 明かりにまつわる物語 — 物語を照らす明かり —

(一般)『水底の光』小池真理子/著 文藝春秋【コイ】

『停電の夜に』ジュンパ・ラヒリ/著 小川高義/訳 新潮社【933 う】

『文明開化灯台一直線！』土橋章宏/著 筑摩書房【B ト】

(児童)『メリーメリークリスマス！』岡村志満子/作 くもん出版【XE クリスマス】

『赤いろうそく』新美南吉/作 太田大八/絵 小峰書店【E ニ】

*お探しの場合は、図書館スタッフまでお申し付けください。

【映画】

今年もあとひと月で終わろうとしています。寒さも厳しくなっておりますので、外と室内の寒暖差にはご注意ください。

さて、今月の1日は「映画の日」、また28日は「シネマトグラフの日」という、世界で初めて映画が公開された日でもあります。映画は古くから愛され、形は違っても現在も多くのものが上映されています。

一つの映画の中には、ストーリーを追うだけでなく様々な見方があります。そんな見方を提案してくれるような本を、今回はご紹介いたします。

年末年始のお供にどうぞ。

『映画でお散歩パリガイド』

ジュウ・ドゥ・ポウム／著 ジュウ・ドゥ・ポウム 【293 シ】

『シネマ食堂』

飯島奈美／著 朝日新聞出版 【596 イ】

『字幕屋は銀幕の片隅で日本語が変だと叫ぶ（光文社新書）』

太田直子／著 光文社 【801.7 オ】

『映画で学ぶ英語学』

倉田誠／編 くろしお出版 【830 エ】

『映画の中のマザーグース』

鳥山淳子／著 スクリーンプレイ出版【931 マ】

きょうか しょ ぼん よ

教科書本を読もう！

『どきん』

たにかわしゅんたろう ちょ
谷川俊太郎／著

ねんせい こくご けいさい
—3年生 国語 掲載—

これまで数々の詩を書かれています谷川俊太郎。

この『どきん』は、彼の代表作の一つです。詩の主人公は何かに触れ、たくさんの行動を起こして反応を見る。そしてそれを見て地球という世界に立っていることを自覚する。私はこの詩は「初めての経験」を表しているものだと感じました。初めて触れ合うもの、そしてその経験。まだまだそういった経験はたくさんできる、挑戦できる。この詩を初めて読む小学生ではなく、
でも、また一つの「経験」として、読み返してはいかがでしょう。

指定管理者：(株) 図書館流通センター